

# ひとりで悩まないで相談して



あなたが配偶者からの暴力に悩んでいるなら、一人で悩まず、まずお電話をください。お待ちしています。

どうぞ  
ご相談  
ください

## 配偶者からの暴力に関する相談窓口

### 配偶者暴力相談支援センター

(山口県男女共同参画相談センター)

(月～金 8:30～22:00 土・日 9:00～18:00)

・相談専用ダイヤル ☎083 (901) 1122

・DVホットライン(緊急用) ☎0120-238122

最寄りの警察署

・周南警察署

☎0834 (21) 0110

・光警察署

☎0833 (72) 0110

・レディースサポート110 ☎0120-378387

☎083 (932) 7830

法務局 (月～金 8:30～17:15 祝日休み)

・山口地方法務局周南支局 ☎0834 (28) 0244

・女性の人権ホットライン ☎0570 (070) 810

(山口地方法務局人権擁護課)

市役所 生活安全課(市民相談窓口)

(月～金 8:30～17:15 祝日休み) ☎0834 (22) 8320

☆民間の支援団体でも相談をお受けしています。

NPO法人山口女性サポートネットワーク

(月・火・水 13:00～16:00 祝日休み)

☎0836 (37) 5611

## 編集後記

今回は、新たに木村さんという新しい強力なメンバーが加入し、ワークショップやフォーラムの情報をたくさん取り入れ、周南市で活躍しておられる女性・男性の新鮮な、中身の濃い情報を知ることができました。

編集に携わって二年間で得た知識を無駄にせず、まずは、自分の家庭や地域において役立て、さらにこれからの人生にも役立てていきたいと思えます。

男も女も、相手の立場を考える、「おもいやりの心」を持つことが男女共同参画の基本だと思います。

とても価値ある、有意義な編集会議でした。ありがとうございました。

佐伯 吉将

「糰からばたまち」という諺があります。昔は、ばたまちはいへんごちそうだったので、糰ばたは思いがけない嬉しいラッキーなことでした。

でも、何もしなくて、そんなラッキーなことが簡単に起こるでしょうか? 糰に誰かが、ばたまちをのせないことには、落ちてきません。

つまり、「何もしていないように見えて実はしている」と言う点が重要なのです。思いがけないラッキーをつかむには、待っているだけではダメ! 自分から行動を起こすことが大切。男女共同参画も同じことが言えます。

自分らしく笑顔で生きるハッピーな社会を創るためには行動あるのみです。

幸せな毎日を迎えるヒントをこの紙面で見つけてください。

木村弥々子

最近、いろいろな仕事の現場で見かける活躍する人たち。性別に関係なく生かせる力を生かせる場所で発揮するということとは当然の事だけど、これまでは受け入れ環境も整わず、それがいかに難しいことだったか…。これからは、もっとも様々な個性を開花させる場所が増えて欲しいと切に願います。

いろいろな資料から見えてくる男女共同参画の世界は、「まだまだ」の部分あり、「根付いている」部分あり…で、今後も目が離せません。

少しずつでも進んでいる意識改革に希望を感じつつ、身近に努力できることはないか、これからも探さなければなりません。

渡邊 良子

じょいんとの編集員になって4年?いろいろな勉強をさせてもらいました。知らなかったこと、気づかなかったこと、ほぉ～、へえ～、なるほど、そうなんだ…と驚いたり、感心したりの連続でした。

家族みんなができることをできるように。また、地域でもできることをできるように。このじょいんとに関わったことは、私にとってもプラスになったのでは、と思っています。

まだまだ、知らないことや難しいことがたくさんあると思います。なので、人とじょいんと、地域とじょいんと、情報とじょいんとしつつ、関心を持ち続けていきたいと思っています。

ありがとうございました。古木 緑

問い合わせ先

〒745-8655 周南市岐山通1-1 周南市企画課男女共同参画室

☎0834 (22) 8205 ☎0834 (22) 8475 Eメール kikaku@city.shunan.lg.jp

男女共同参画情報誌

じょいんと

# じょいんと

Vol.14

2008年・春

## ●特集

- ・“男だったらそれくらい” “女だったらそれくらい” ふと感じる“それ”の疑問
- ・統計から見た男女共同参画の実態
- ・インタビュー「みんな笑顔で活躍中」



周南市

# “男だったらそれくらい” “女だったら それくらい” だと感じる“それ”の疑問。

山陽小野田市 第8回「女と男の一行詩」特別賞受賞 サビエル高校 高木千穂さんの作品



## “それ”ってなに?

幼稚園から大学まで、600人に聴きました!

高木千穂さんの一行詩「それ」の疑問は、いつも家庭で言われる「女の子だから～」「男の子だから～」について疑問を持ったことがきっかけで作られました。昨年、周南市男女共同参画推進実行委員会(注1)では、この「それ」の疑問をテーマに、周南市内の幼稚園、小学校、中学校、高校、高専、大学で、「男の“それ”」「女の“それ”」について、約600人の青少年の意見を聴きました。

### 「男の“それ”」ってなに?

- 男は泣くな!
- 男はみんなをまとめろ!
- 男ならやる気をだせ!
- 男はしっかり家族を支えるもの!
- 男は根性を持って!
- 男はうそをつくな!
- 男ならへこたれるな!
- 男はがまん!
- 男のくせにはっきりしろ!
- 男は家族の中心!
- 男は約束を守れ!
- 男は女を守るもの!
- 男は根性を持って!
- 男なら頼れる人になれ!
- 男はうそを吐けろ!
- 男は強く正しく生きる。
- 男は負けるな!
- 男は外で働け!
- 男は力仕事をする!
- 男なら勇気を持って!
- 男なら頼れる人になれ!
- 男は強く正しく生きる。
- 男は責任を取れ!

### 「女の“それ”」ってなに?

- 女は礼儀正しく!
- 女のくせにでしゃばるな!
- 女は言葉使いに気をつけろ!
- 女は家事!
- 女は細かいことが得意!
- 女は子育て!
- 女は控えめに!
- 女は手先が器用!
- 女はおしとやかに!
- 女なら部屋の片付けくらいするもの!
- 女は細かいことが得意!
- 女は優しい!
- 女は気配りが肝心!
- 女ならちゃんとしなさい!
- 女なら服装をきちんとしなさい!
- 女なら掃除・料理はできるでしょ!
- 女の子は手伝いをしなさい!

### 「男に生まれてよかったこと」は

- ◆体力がある ◆情熱やロマンがある
- ◆女子を守る ◆力が強い
- ◆いろいろなスポーツができる
- ◆友情が強い ◆堂々としている
- ◆勇気がある ◆大黒柱になれる
- ◆カロリーを気にせず食べられる
- ◆運動能力が高い ◆かっこいい
- ◆やりたいことが自由にできる
- ◆人間関係がさばさばしている
- ◆仕事の幅が広い
- ◆木登りができる

### 生まれ変わるとしたら...

%	やっぱりこどもは		やっぱりこどもは	
	男	女	男	女
幼稚園	86	14	90	10
小学校	99	1	78	22
中学校	93	7	31	69
高校・高専	83	17	57	43
大学	71	29	55	45

### 「女に生まれてよかったこと」は

- ◆家事ができる ◆涙が武器になる
- ◆お母さんになれる
- ◆平均寿命が長い
- ◆命の大切さを身近に感じられる
- ◆結婚したら仕事をしなくていい
- ◆料理が上手 ◆笑顔が素敵
- ◆手先が器用 ◆人前で泣ける
- ◆出産ができる
- ◆お化粧ができる
- ◆おしゃれができる
- ◆プロポーズしなくていい

信念を持つ 礼儀正しく! いろんな仕事に挑戦する 頼られる人になろう!

がまんすることも大切 身回りを清潔にする 決まりを守る! 泣きたい時は泣く 笑いたい時は笑う

考え方を変えてみようよ

「男だから～」「女だから～」ではなく、「一人の人間だから」...

整理整頓心がける 約束を守る 物事の善悪は正しく判断する 自分の行動に責任を持つ 自分のことは自分でする

優しい心を持つ 服装をきちんとする 自信を持つ 身だしなみに気をつける 勇気を出す 自分の考えを持つ

家庭は家族みんなで支え合う 最後まであきらめない うそをついてはいけない 言葉使いを正しくする

自分を大切に、相手を大切にすることが、お互いをかけがえないパートナーとして認めあう男女共同参画社会の第一歩! 「男だから」「女だから」にとらわれることなく、一人の「人間」として相手を尊重し、お互いに支え合い生きていくことの大切さを、子どもたちにしっかり伝えていく必要があります。

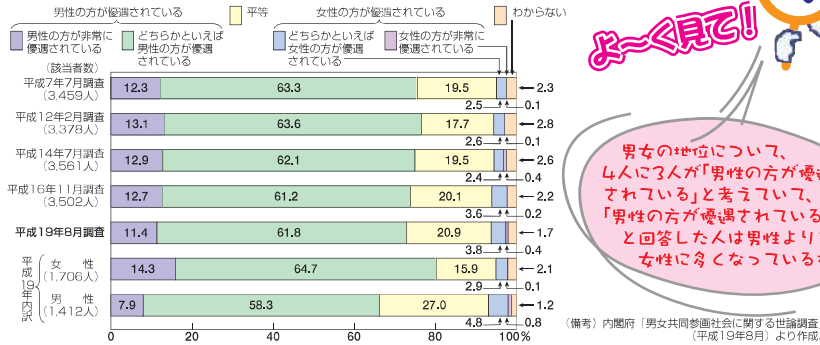


(注1) 周南市男女共同参画推進実行委員会は、平成19年10月28日徳山大学で開催された山口県男女共同参画フォーラムの第1分科会を企画運営するために7人の市民で構成された実行委員会で、「それ」ってなに?」について平成19年6月～10月に約600人の青少年の意見を聴き、その結果をこの第1分科会で発表しました。

# 統計から見た男女共同参画の実態



## ■男女の地位の平等感

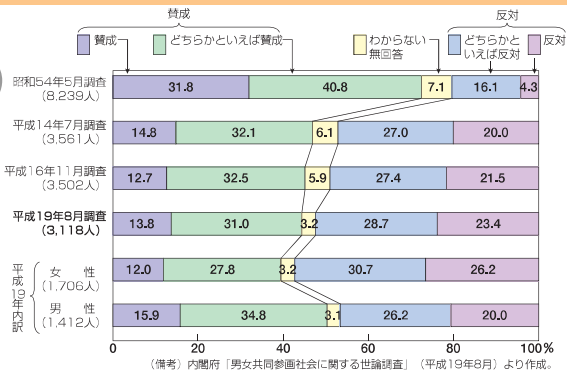


よーく見て!

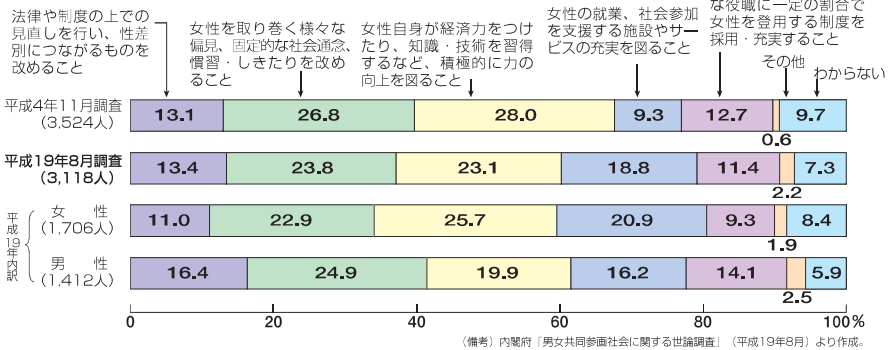
男女の地位について、4人に3人が「男性の方が優遇されている」と考えていて、「男性の方が優遇されている」と回答した人は男性より女性に多くなっているね。

## ■固定的性別役割分担意識〈経年変化〉（夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである）

昭和54年の調査では賛成が7割を超えていたけど、平成19年の調査では反対が5割を超えた!

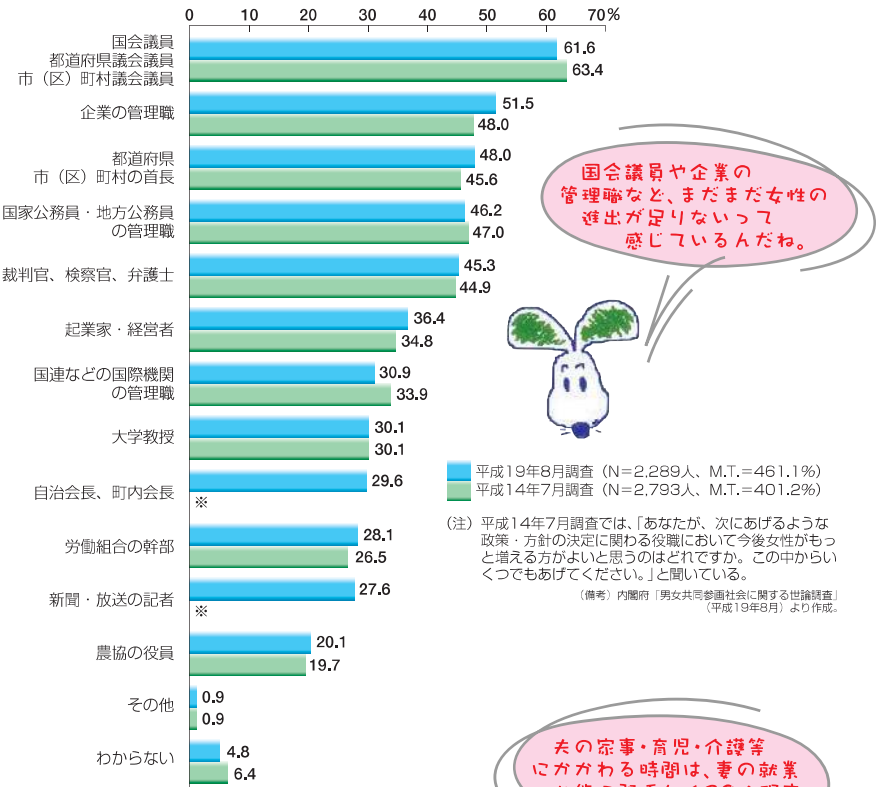


## ■男女があらゆる分野で平等になるために重要なこと



## ■女性が増える方がよいと思う職業や役職

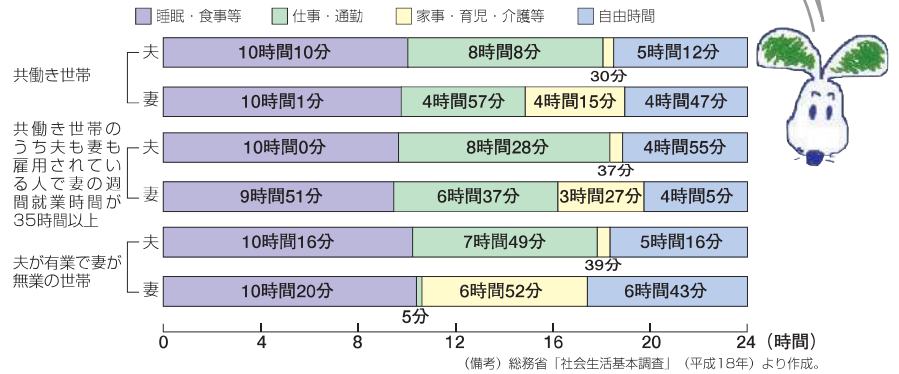
今後もっと様々な職業分野で女性が増える方が「よいと思う」、「どちらかといえばよいと思う」と答えた者に、複数回答



国会議員や企業の管理職など、まだまだ女性の進出が足りないって感じているんだね。

夫の家事・育児・介護等に力がかかる時間は、妻の就業状態に関係なく30分程度なんだ。

## ■夫婦の生活時間





周南市民病院  
看護師  
両國 俊樹さん

◆どんな仕事？

周南市民病院で看護師になって病棟勤務2年、現在手術室所属、手術担当医師に直接メスなどの器具を渡す直接介助と出血量を測定したりする間接介助を担当しています。

◆休日？

寝てます。

◆この仕事に就いたきっかけは？

高校卒業後、看護師である母親の勧めがあったからです。

◆職場の上司から一言

看護師としての仕事の内容は全く男女の差はない。むしろ、看護師という資格を持って仕事をしているのに、仕事の内容に男女で区別するのはおかしいと思います。ただし、患者さんの立場に立って男性看護師に抵抗があると思われる場合は、本人が自分から患者さんの気持ちを考えて、少し距離を取って相手と接しています。大切なのは患者さんの気持ちを尊重することであって、看護師の仕事に男女の差がないことを無理やり患者さんに押し付けるわけにはいきません。これから、男性看護師が増えて特別な存在でなくなれば、そういった違和感を持つ患者さんが少なくなると思っています。今は過渡期であり、仕方ないと思います。

職場では、男とか女とか、そういった特別な存在として意識せず、一人のスタッフとして考えています。逆に男性が入ることで、女性だけの職場より雰囲気などがよくなり、職場が明るくなります。本人の明るい雰囲気は、看護師はもちろん医師や他の医療技術者のスタッフにも受け入れられています。

◆この仕事のやりがいは？

やればやるほど奥が深く、分からないことだらけで学ぶことも多く、おもしろいです。

特に、手術のスタッフとして、医師の補助をすることにより、手術の進行に深くかかわっているということと、病棟では、患者さんと直接に接することで、病気が怪我がよくなって退院する時の笑顔の援助ができるという充実感です。

◆仕事で大切なことは？

患者さんによっては、男性看護師に抵抗のある場合もあり、そんなときは、無理せず、相手の気持ちを考えて気配りすることを心がけています。

◆最後に一言

「男」とか「女」とかではなく、「一人の看護師」として仕事をしています。看護師は人と人が接するサービス業ですが、一方的なサービス業ではなく、「病気を治して帰る人」のために、いろいろなことで援助ができる仕事であると思います。



徳山海陸運送(株)  
生コン輸送営業所  
生コン車ドライバー  
石本 純子さん(左)  
森田しのぶさん(右)

◆どんな仕事？

生コン(セメント+水+砂+石を混ぜたもの)をミキサー車に積んで、建設現場まで運搬し、荷おろしをします。

◆誰でもミキサー車の運転手になれる？

大型車免許が必要です。

◆この仕事に就いたきっかけは？

(森田) 父親が大型車に乗っていてかよよく、自分も乗りたいと思いました。免許取得は23歳の頃。小学生の娘もミキサー車が好きで、乗りたいと言っています。

(石本) トラックの運転をする女性の運転手を見てあこがれて、10年前に免許を取りました。

◆この仕事のやりがいは？

荷物を運んでおろすだけでなく、コンクリートを運ぶたびに、何もない場所に「もの(建物や橋や道路)」がどんどん出来上がっていき、変化する建設現場に立ち会ってみると、一緒に造っているという実感があります。

◆この仕事で大変なことは？

運搬先の建設現場は、ぬかるみや狭いところ、災害現場などが多く、運転が大変。また、現場の工事日程に合わせて運搬するので夜間の仕事も多いです。生コン車のシュート(ミキサー車からコンクリートが出てくる)は重く、上げ下げするのは力仕事です。水を使ってミキサー車をきれいにするので、真冬でも水を使います。

女性だからできないことはないけど、職場の理解と協力があってできるものと思っています。

◆職場の先輩から一言

女性は力がないし、シュートを持ち上げたり、車の運転や機械の操作をできなきゃいけないので、最初は女性にできるかなと心配したが、二人を見て「結構やるもんじゃな」と思いました。運搬先の建設現場は男性が多く、なかなか気が荒く、二人とも大変だと思いますが、頑張っていますよ。

女性が「できない。どうすればいい?」と言えば、自分たちは手伝うようになりますね。女性が入ることで職場が明るくなり、まわりを和ませてくれる「一輪の花」です。

◆最後に一言

自分たちがこうして生コン車に乗って仕事ができるのも、女性にもこの仕事に就く機会を与えてくださった社長のおかげです。会社の理解と職場の男性の協力があって初めて実現できます。これを大切にしたいと思います。

◆どんな仕事？

職名は消防官。勤務のうち半々の割合で消防車と救急車に乗務。消火活動や救急搬送、防火施設の点検・査察を行います。勤務は朝8:30~翌朝8:30までを14日間のうち5日で、仮眠中もいつ出勤になるかわからないので絶えず緊張しています。

◆休日？

緊急の場合、休みの日でも呼び出しがあるため、周南市及び下松市以外に行く時は届出が必要です。

◆仕事で大変なことは？

体力がいる仕事、年をとっても体力を維持していくことです。また、同じ年齢だと、どうしても女性には体力が劣るので、男性と同じ仕事をするためには、自分を鍛えなくてはなりません。訓練は厳しいけど、自分を鍛えることは楽しいです。

◆この仕事に就いたきっかけは？

学生時代に陸上をやっていましたが、怪我のために競技生活を断念。卒業後

帰省して、職業訓練校で簿記やパソコンを学びましたが、なかなかやりたい仕事が見つかりませんでした。そんなとき、消防官である大学の先輩の「この仕事は女性がいたほうがいい」という話を聞いて、スポーツで体を鍛えてきたことも役立つと思い、消防官に興味を持ちました。丁度、周南市で消防隊員の採用試験があり、「このチャンスは運命だ!」と思いました。

◆この仕事のやりがいは？

消火活動や救急搬送で接した市民の方から感謝された時、やりがいを感じます。

◆職場の上司から一言

初めてのことでも、全く男性と同じことをやらせてもいいのか、手探りでした。慣れるまで出勤制限をしていたが、今では、特別扱いはしていません。職場の「一人」の戦力として認めています。消防官の仕事に限らず、仕事には厳しさがあって、女性だからという特別扱いは許されません。一方、救急搬送するときに、救急隊員が女性であると、相手に安心感を与える場合があります。「男だからできる」とか「女だからできない」と言うことではなく、男性も女性も「人」としてお互い認めて仕事をしていくことが大切です。



周南市中央消防署  
消防士  
久野 陽子さん

◆最後に一言

消防学校でつらい訓練を経たない消防官なのに、女性だからと一人前に見られていないように感じていたが、2年目に、上司から「特別扱いをしない」と言われた時は嬉しかったです。今、仕事が楽しく、いい環境で働くことができるのは周囲のおかげです。これから、結婚、出産ということがあるかもしれないけれど、できる限り現場で仕事をしたいし、できるように自分の状態を維持していくつもりです。

◆幼稚園の先生になるためには？

幼稚園教諭免許が必要。一番大切なのは「子供が好き」ということです。

◆この仕事のやりがいは？

自分の思いと子どもの気持ちが一致になって共感できた時はうれしいです。子どもだけでなく、保護者や、地域、職場でも、人と人の関わりの仕事だからこそ、お互いが共感できた時がうれしいです。また、行事や園生活の中で子どもの成長を見て、子どもの達成感を一緒に感じることは喜びになります。

◆職場の上司から一言

最初は女性ばかりの職場で、男性の先生を受け入れるのにどうしたらいいのか緊張で迎えました。しかし、家庭の中でもお父さんやお母さんがいるように、幼稚園でも男性と女性の両方の先生がいることは、子どもたちの園生活が豊かになります。男だからとか、女だからとかではなく、お互いが足りないところを話し合い補うことが大切。せっかく男女がいるのだから、双方のいいところを出し合ってよりよいものを目指すことで、今までできなかったことができるようになり、次の道が開けます。とても存在感のある先生です。



周南市立菊川幼稚園  
教諭  
坂本 時宏さん

◆最後に一言

人間一番大事なものは1対1で向き合うこと。相手を通して自分を見ることで、見えてくるものがあります。経験によって判断することもできるが、お互い向き合って初めて気づくことも多いのではないのでしょうか。それは、子どもでも、夫婦でも、職場でも一緒だと言えると思います。